

平成29年第14回（定例）高砂市教育委員会 会議録（要旨）

日時

平成29年8月24日午後2時00分

場所

高砂市役所南庁舎4階研修室

出席者

衣笠教育長、山名委員、神尾委員、布施委員

出席事務局職員

大西教育部長、永安教育推進室長、瀧野学校教育室長、  
都筑教育推進室教育総務課長、阿部教育推進室生涯学習課長、  
赤松学校教育室学校教育課長

本日の会議に付した事件

報告事項

- 1 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について
- 2 日本遺産追加認定について（北前船）

その他

- 1 9月行事予定について

---

議 事 報告事項 1 高砂市教育委員会事業後援承認一覧について

- 事務局 (報告事項 1 について説明)
- 委員 A 1 番目の親守詩は、どのような内容ですか。
- 事務局 言葉をつなぐ、心をつなぐ、親子をつなぐということで、主に親子と一緒にアトラクションに参加するであるとか親子の子育て相談講座に参加するであるとか百人一首を楽しんだりというような内容です。親への感謝の気持ちを五・七・五の川柳につづって募集をして、その展示発表とか表彰もあり、県の教育委員会も後援されています。他市町も大半が承認しているということです。
- 委員 B 全兵庫県下は後援しているわけですか。
- 事務局 昨年度は、兵庫県、兵庫県教育委員会、それから神戸市、尼崎、西宮、近隣だと明石、播磨町、稲美町、ほとんどの市町の教育委員会の後援ということです。
- 教育長 開催場所はどこですか。
- 事務局 今年度は、神戸市の湊川神社の楠公会館です。
- 委員 B 例えば東播磨地区でやるなら地元の教育委員会の後援はあってもしかるべきだと思うが、遠くでやるとき、ほんとうに全市町の教育委員会が、一々名前を出す必要があるのかという気もする。そういうのに関しては場所の線引き、基準みたいなものがあるのかどうか。
- 事務局 今、手元に要綱の本文を持ってきていないんですが、特に地区とか距離とかで後援をするしないというような決まりはありません。
- 教育長 申請が出てきて、中身を吟味して妥当だったら後援するということですね。
- 事務局 はい、内容を審査して後援するという形です。
- 委員 A この大会は、自由に市民とかいろんな人たちが参加できるような大会なんですか。もしそれだったら意味があると思うが。門戸としてはちゃんと開かれているというふうに考えていいのか。
- 事務局 児童については、例えば川柳を出していて、それについての受賞児童の引率者については無料ということです。一般参加は2,000円ということです。
- 教育長 ご意見をたくさんいただきました。例年承認しているけども、よく見れば1つ検討する余地もあるかないかということで意見をいただきましたので、本年度承認はしますが、来年またこれについてはもう少し詳しく内容等も吟味した上で承認等も考えるということで、今回、承認します。

---

議 事 報告事項 2 日本遺産追加認定について（北前船）

○事務局 （報告事項 2 について説明）

○委員 B 松右衛門さんは北前の港の造成にかかわっていて、いろいろなところをつくられているけど、それは北前船の帆のところをつけたということなのか

○事務局 工楽松右衛門さんに関しては、一番大きいのは松右衛門帆ができたことで瀬戸内から北海道まで 1 回の航路で行けるほどの丈夫な帆ができたと言われて

います。  
もう 1 点は、函館のドックを改修したこと。それから、大きなところでは瀬戸内の鞆の浦もそうですが、基本的に北前船航路の港に関して改修に携わった経験もある。それと、松右衛門さん以外にも以前から高砂の船主が北前船を使って北海道のほうまで行っていたというのは記録が残っていますし、山形の酒田に高砂の水夫さんのお墓が何カ所かあって、そこに高砂の船主が墓参りに行ったというような記録も残っていますので、北前船とのかかわりでは、高砂は十分対象になると考えています。

ただ、日本海側との一番大きな違いというのは、日本海側はまだ江戸時代の町並みが残っているところが多いんですが、瀬戸内は開発されたりして町並みがきれいに残っているところが少ないので、手を挙げたから必ず追加認定されるという確約はもらっていません。

○教育長 日本遺産の件は報告ということですので、また 12 月頃に状況が変わった時点で改めてご報告します。

---

議 事 その他 9 月行事予定について

○事務局 （その他について説明）

○教育長 ご意見はありませんか。

ないようですので、教育委員会を閉会いたします。

---

平成 29 年 8 月 24 日 午後 3 時 4 分 教育長会議の閉会を宣告

---